

Doc. No.: NR060511

2006年5月11日

半導体製造装置の新たな生産工場を建設 ～ウエハー洗浄装置の増産に対応、11月に操業を開始～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の半導体機器カンパニー(社長：末武 隆成)は、当社彦根地区事業所(滋賀県彦根市高宮町480-1)の敷地内に、半導体製造装置の新たな生産工場「Fab.FC-2(ファブ・エフシーツー)」の建設を決定、2006年11月の操業開始に向け、このたび着工しました。

デジタル家電やメモリーカードの市場拡大、またBRICsをはじめとする新興国におけるパソコンや携帯電話の需要の拡大など、半導体業界は安定成長の傾向が強くなっており、今後も大手デバイスメーカーでは高水準の設備投資が続くと予想されています。そのため半導体に関連する装置メーカーでは、製造装置の大幅な需要増加に対応できる生産体制の構築が急務となっています。

当社においても、このような業界の活況に加え、世界トップシェアを誇る300ミリウエハー対応洗浄装置への高い信頼性を背景として、順調な受注状況が続いています。今回建設する新工場「Fab.FC-2」は、これらの動向を受け、バッチ式洗浄装置をはじめとするウエハー洗浄装置の生産増強に対応するもので、当社グループにとって4カ所目の半導体製造装置の生産工場となります。2001年に同じ彦根地区事業所内に建設した「Fab.FC-1(ファブ・エフシーワン)」の施設の一部を共有するとともに、コンセプトや基本設計を踏襲して建設するため、極めて短い工期によるしゅん工を実現します。また、新工場本格稼働後の「Fab.FC-1」と合わせた生産能力は現状の約2倍となり、好況が続くと見込まれるデバイスメーカーへの、長期にわたる製造装置の安定供給を可能にします。さらに、将来予想される450ミリウエハー対応製造装置の生産も可能なクリーンルームなど、次世代半導体への対応も視野に入れた設備を持つ工場となっています。

当社は、今回の「Fab.FC-2」の建設により、バッチ式洗浄装置をはじめとするウエハー洗浄装置の生産能力を増強し、関連する製造装置のさらなるシェアの拡大を目指すとともに、半導体事業における競争力の強化を図ります。



Fab.FC-2 完成イメージ

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<新工場の概要>

- 名 称：彦根地区事業所「Fab.FC-2 (ファブ・エフシーツー)」
「Fab.」は、Fabulous (素晴らしい) およびFabricate (造る) を、「FC」はFine Cleaning (ファイン洗浄) と主力製品の300ミリウエハー対応洗浄装置「FC-3100」を表す。当社の新世代コンセプトの生産拠点として、IT技術を活用した設計・生産管理を目指す。
- 所 在 地：滋賀県彦根市高宮町480-1
- 敷 地 面 積：約5,600平方メートル
- 建 築 面 積：約5,200平方メートル
- 延 床 面 積：約9,000平方メートル
- 構 造：鉄筋造 3階建
- 総 工 費：約27億円
- 着 工：2006年4月
- 操業開始予定：2006年11月
- 主 な 業 務：ウエハー洗浄装置の生産 (バッチ式洗浄装置、枚葉式洗浄装置など)